

とっとりの

青少年

№. 133

平成24年3月発行

編集・発行 青少年育成鳥取県民会議

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220

鳥取県福祉保健部

子育て王国推進局 青少年・家庭課内

TEL 0857(26)7078

FAX 0857-26-7863

E-mail t-youth7@infosakyu.ne.jp

ホームページアドレス

<http://tpayd.net>

平成23年度主な活動

- ★ 「青少年育成鳥取県民会議結成大会」参加の思いを大切に
- ★ 第3回「家庭の日」絵画・ポスター作品 入賞者
- ★ 第45回青少年育成鳥取県民大会
- ★ 青少年育成鳥取県民会議及び市町村民会議会長意見交換会開催
- ★ 高校生マナーアップさわやか運動
- ★ 「青少年育成団体助成金」
- ★ 第33回「少年の主張」鳥取県大会

「青少年育成鳥取県民会議結成大会」参加の思いを大切に

“伯耆ナ ソコソコソゲダケ ダンダンナ
伯耆大山 もみじの裾野 ハ ヤッコラサノサ
一夜しぐれで ハ ソレヨイ ソレヨイ 雪衣
ソレヨイ ソレヨイ 雪衣”



委員
前田 義機

時に昭和41年9月20日、県庁講堂で開催された青少年育成県民会議の結成大会に、23才の私は、その年、鳥取県青年大会郷土芸能の部で最優秀賞を受賞しました大山町青年団13人の団員と「大山小唄」をアトラクションとして参加し、一生懸命踊りました。

結成大会の議長は、当時の鳥取県連合青年団長吉田秀光氏（現三朝町長）で、大会宣言が「明日をにない、日本の将来を築くのは青年である。……ここに青少年諸君の奮起を促す……」と決議されました。

以来、私は“私の青春は青年団にあり”をモットーに団活動に楽しさを見つけ、青年の生活を高め、住みよい地域づくりに努めました。

青年団活動、PTA活動、職務としての社会教育主事、青少年育成推進指導員活動等に励み、青少年育成県民会議の結成から今日までの活動に参加させていただきました。

今日、青少年をめぐる問題は多岐にわたり深刻化しています。これまでの活動を点検し、マンネリ化になっていないか現状を的確にとらえ、今これから何をどうすべきか団体として、個人として具体的な活動目標を定めて、地域及び関係機関と連携し、健全育成運動を推進、実践活動を展開しましょう。

平成22年度は、「少年の主張」鳥取県大会、平成23年度は、青少年育成鳥取県民大会に司会者として関わりました。中学生の意見発表・青少年の元気なステージ発表は、学校生活や家庭の大切さ、住んでいる地域のことなどで多くの人たちに感動を与え、青少年の思いに触れることができました。

第3回「家庭の日」絵画作品募集

「毎月第三日曜日は家庭の日」を鳥取県に定着させるために「家族」というテーマで第3回「家庭の日」絵画・ポスター作品募集を行い、県内の市町村民会議に、小中学生の皆さんから448点の作品が寄せられました。その中から各市町村民会議での審査会を経て、県民会議に推薦していただいた70点の作品を更に審査して、小学生低学年の部・高学年の部・中学生の部で最優秀賞3点、優秀賞3点、優良賞12点の18名を、10月16日（第3日曜日）に開催した県民大会で表彰しました。

今後も毎月第3日曜日は「家庭の日」を一人でも多くの県民の皆様に知っていただくよう啓発活動に力を入れていきたいと思います。

☆入賞者

〔小学生低学年の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	鳥取市	鳥取大学附属小学校	2	太田 来明	うれしいさんかん日
優秀賞	米子市	淀江小学校	3	富田 帆紀	家族でワックスがけ
優良賞	境港市	渡小学校	3	木下 航	田植え体験
優良賞	鳥取市	青谷小学校	3	高倉 あみ	かぞくで楽しい妹のりにゅう食
優良賞	倉吉市	上北条小学校	2	藤本修平	バーベキューをしたよ
優良賞	鳥取市	湖山小学校	2	中嶋 関太	かぞくではなび
優良賞	鳥取市	日進小学校	1	米澤 萌衣	やさいをだいしゅうかく

〔小学生高学年の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	智頭町	山形小学校	4	大呂 恵雨	ぼくの家族
優秀賞	米子市	和田小学校	4	角 和香	家族で山登りをしたよ
優良賞	鳥取市	岩倉小学校	6	中村 葵音	うでずもう
優良賞	日野町	根雨小学校	6	阿部 瑞季	日野川でラフティング
優良賞	三朝町	西小学校	5	岩本 啓吾	オレ強くなるよ
優良賞	鳥取市	湖山西小学校	4	藤村 里奈	家族でプランター菜園
優良賞	鳥取市	中ノ郷小学校	5	山澤 樹	兄の一球

〔中学生の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	境港市	第一中学校	1	片寄 椋太	そーめん流し！！
優秀賞	大山町	大山中学校	1	山根 美玖	家族みんなの明るい笑顔
優良賞	大山町	大山中学校	1	坂本 未来	誕生日
優良賞	米子市	湊山中学校	1	森田 紀香	家 庭

第3回「家庭の日」絵画・ポスター作品

最優秀賞・優秀賞 作品集

小学生低学年の部



最優秀賞 鳥大附属小2年 太田 来明



優秀賞 淀江小3年 富田 帆紀

小学生高学年の部



最優秀賞 山形小4年 大呂 恵雨



優秀賞 和田小4年 角 和香

中学生の部



最優秀賞 境港第一中1年 片寄 棕太



優秀賞 大山中1年 山根 美玖

「第45回青少年育成鳥取県民大会」

平成23年10月16日（日）鳥取県立武道館（米子市）で開催

本年度の県民大会は、近年では最多の参加者で会場が埋め尽くされました。米子がいな太鼓保存会『かいけわかばえん連』の皆さんによる可愛いばちさばきにより開会し、青少年育成活動功労者顕彰、「家庭の日」絵画・ポスター入賞者の表彰に続いて、「少年の主張」鳥取県大会で最優秀賞受賞の田中愛さんが、祖父の急死と上京中遭遇した「東日本大震災」という二つの体験をおして、命の大切さと人の温かさを痛感、生かされている自分に感謝し、悔いのない人生を送っていききたいと力強く発表していただきました。

今大会では、初めての試みとして、青少年育成3団体にステージ発表していただき、子どもたちを指導している方々にインタビューを通して、日頃から心がけていること、気を付けていることなどをお話ししていただきました。会場には、「家庭の日」絵画・ポスター入賞者の作品をはじめ各市町村民会議から推薦された作品を展示し、来場者に鑑賞していただく等和やかな雰囲気になりました。

大会を通じて、家庭の大切さ、青少年が健やかに育つために大人ができることと併せて、絵画や作文から子ども達の思いに触れることができました。

（１） 青少年育成活動功労者顕彰（顕彰団体1団体、顕彰者5名）

せきがね さいとりさし保存会	倉吉市	平成13年から指導を受けている鴨川中学校の生徒達は、郷土の歴史や文化を学び、郷土を愛する心を培うとともに、協調性、団結力を養い、舞台発表することにより達成感と自信へと繋がっています。
さ　さ　き　　ゆきとし 佐々木　　敬宗	倉吉市	平成7年から18年度まで上小鴨地区青少年育成協議会長、現在も委員として、子どもたちに自然体験や地域の伝統文化の体験、親子活動など健全育成活動に取り組んでおられます。
まえだ　　ひろし 前田　　宏	岩美町	長年にわたり、岩美町青少年育成協議会の顧問、鳥取県と岩美郡の軟式野球連盟会長として、継続して青少年育成活動を実施してこられました。
まつばら　あつこ 松原　厚子	湯梨浜町	青少年育成湯梨浜町民会議副会長として、各種研修、育成事業の企画・運営に携わっておられ、常に子ども達を温かく見守る活動を積極的に推進しておられます。
いのうえ　たえこ 井上　耐子	琴浦町	平成16年から県連合婦人会長として、少子・高齢化問題、青少年健全育成などに献身的に取り組んでこられ、同年より青少年育成鳥取県民会議副会長にも就任し、県民会議事業の発展に尽力していただきました。
おおたに　こうじ 大谷　好司	米子市	昭和53年ボーイスカウト米子第11団の指導者として参加以来33年間、指導者・地区役員・県連理事として、ボーイスカウト鳥取連盟の発展と充実に大きく貢献されました。

（２） 青少年育成活動功労者顕彰・「家庭の日」絵画・ポスター作品入賞者の表彰の様子



(3) 第33回「少年の主張」最優秀賞

「命の大切さ」米子市立東山中学校 3年 田中 愛さん 発表

(本紙9頁に全文掲載。当県民会議のホームページでもご覧になれます。)

(4) 平成22年度青少年育成団体助成金交付団体の活動報告

○発表者：境港市民会議中浜地区部会 部長 楠 英雄 氏
助成対象事業：「夏休み親子キャンプ」(平成22年8月7日～8日実施)

○発表者：岩美町蒲生地区青少年育成会 事務局 細川 純子 氏
助成対象事業：野外活動「蒲生っ子まつり」(平成22年8月1日実施)

(5) 元気な青少年のステージ発表・・・発表団体からのコメント

宇田川青少年育成会郷土芸能部・淀江町9区子ども会



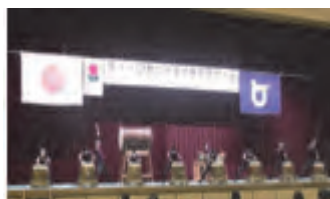
東日本の芸能復興支援事業として、10月9日、茨城県日立市で開催された「ひたち秋祭り～郷土芸能大祭」で被災した東北の芸能団体と競演してきました。子どもたちが持てるパフォーマンスで震災復興に直接、関わる経験を通して何を感じたのか。舞台と客席が元気になるステージをお楽しみください。

米子市少年少女合唱団

たくさんの方に支えられ今年14年目を迎えることができました。
「歌は上手でなくても良い。大人になっても合唱が好きでいてほしい。」
そのような温かい気持ちで続けています。



米子がいな太鼓保存会 若あゆ連



若あゆ連は、中学3年生から高校生のメンバーで構成されています。思春期の難しい年頃の子どもたちが、太鼓と出会い、自分たちの夢に向かって、まっすぐ進んでいます。

オリジナル曲「若あゆ」は日野川を勢いよく泳ぐ鮎をイメージして作られた曲です。前半は若さ溢れる楽しさを、後半は何事にも臆することなく挑戦する様を表現しています。

☆青少年育成鳥取県民会議及び市町村民会議会長意見交換会

〔第1回〕 日 時 平成23年6月15日（火） 13:30～
場 所 倉吉未来中心 セミナールーム1
出席者 市町村民会議 会長・副会長：10名
事務局：15名
県民会議 6名



意見交換 ①平成23年度の県民会議と市町村民会議の連携事業について
②平成22年度各市町村民会議の活動報告
報告事項 ①第3回「家庭の日」絵画作品募集について
②「青少年育成団体助成金」について

〔第2回〕 日 時 平成24年1月27日（金） 13:30～
場 所 倉吉未来中心 セミナールーム1
出席者 市町村民会議 会長・副会長：9名
事務局：13名
県民会議 12名

報告事項 ・平成23年度の県民会議の事業実績について
意見交換 ・平成24年度の県民会議と市町村民会議の連携事業について
平成24年度の主な事業（予定）
① 「青少年育成団体助成金」について
② 第34回「少年の主張」鳥取県大会について
③ 第46回青少年育成鳥取県民大会について
④ 第4回「家庭の日」絵画作品募集について
・その他の事業・運動についての要望等について



市町村民会議からの声

- 事業のマンネリ化という思いはなく、継続活動の取組に感謝しています。
- 子ども達が懂れているので、オリンピックに出場したような人の話を聞くのもいいと思います。
- 「マナーアップ運動」を挨拶運動だけで終わらせるのはもったいないと思います。高校生との話し合いの場を設けることができれば、高校生が何を考えているか、学校の様子もわかって良いことだと思います。
- 県民大会では協力が得られ、みんなでやろうという気持ちが表れていて良い大会でした。
- 「家庭の日」の絵画・ポスターの募集もいいが、運動としてどういうふうに進捗していくべきかを考えることが大事なのではないのでしょうか。

八村会長

多くの御意見をいただき有難うございました。委員会・部会で計画を検討してもらいます。健全な青少年の育成は難しいですが、出来るところで協力していくというスタンスで、県と一緒にやっていきます。

☆高校生マナーアップさわやか運動（平成23年4月・9月実施）



鳥取駅前にて↑



↑浜村駅にて

平成23年度の高校生マナーアップさわやか運動を4月19(火)から22日(金)、9月13日(火)から16日(金)の各4日間に開催しました。JR駅、各高校前では、県民会議関係者は4月には延べ約1400名、9月にも約1500名の方に参加していただき運動を展開することができました。

今後も県民運動として皆様に浸透していくよう、啓発していきます。

参加者の声

- ・毎回参加しているが、会釈はしてくれるが声が小さい。
- ・生徒会を中心にあいさつ運動の気運が高まり、高校生のマナーアップに対する意識が高くなっているように思う。
- ・大人の挨拶が悪い。
- ・続けることが力になっていると思う。

平成23年度青少年育成団体助成金交付団体

平成23年6月に「青少年育成団体助成金」の助成団体を募集し、5団体から応募がありました。7月6日開催の審査会におきまして、下記の5団体に助成させていただきました。

- 団体名：永江地区子ども会育成会
事業名：子どもおどり「ながえ イエロー」
- 団体名：特定非営利活動法人こども未来ネットワーク
事業名：ボードゲームマスター養成講座
- 団体名：青少年育成会誠道地区部会
事業名：もちつき大会
- 団体名：ぷろじえくと えん
事業名：赤ちゃんとの「ふれあい会」
- 団体名：青少年育成湯梨浜町民会議
事業名：湯梨浜ナイトハイク
雨天のため中止
(助成金は返納していただきました)

※平成24年度も「青少年育成団体助成金」の助成団体を募集します。
ぜひ、活動に御活用ください。

第33回「少年の主張」鳥取県大会

と き 平成23年9月15日(木) 13:30~16:00

ところ 琴浦町カウベルホール

県内23の中学校から1,706編の応募があり、事前審査・第一次審査を通過した12名の発表者の中より、**最優秀賞は米子市立東山中学校3年 田中愛さんの「命の大切さ」**が受賞されました。

当日は、琴浦町立東伯中学校の生徒及び先生をはじめ、琴浦町の多くの方々の来場により会場は満席となり、発表者一人一人の主張に耳を傾け、中学生の豊かな心と鋭い感性に感動頻りの会場内でした。

結果発表

最優秀賞 (県知事杯)	「命の大切さ」	米子市立東山中学校	3年 田中 愛さん
優秀賞 (県教育長杯)	「夢」	米子市立東山中学校	3年 天野 凌我さん
〃 (県議会会長杯)	「支えられて」	米子市立東山中学校	3年 松尾 菜穂さん
〃 (市長会長杯)	「心の持ちよう」	鳥取市立東中学校	3年 五百川姫華さん
〃 (町村会長杯)	「おいしい梨を届けたい」	八頭町立八東中学校	2年 加藤 紗織さん
〃 (NHK局長杯)	「水泳の苦手な水泳部員」	米子立弓ヶ浜中学校	3年 尾崎 奈菜さん



田中さんの表彰の様子

優良賞 (順不同)

「強い心」	鳥取市立湖南学園中学校	1年 田中 志歩さん
「僕の弟」	鳥取市立中ノ郷中学校	3年 田中 大夢さん
「母への思い」	倉吉市立東中学校	3年 柏 菜々さん
「病気がくれたもの」	倉吉市立東中学校	3年 楠本 聖香さん
「本当の私になるために」	倉吉市立東中学校	3年 野嶋佑梨花さん
「子どもになっていくおばあちゃん」	米子市立福生中学校	2年 宮崎 勇登さん



東伯中学校生徒会による
特別賞選出の様子



石前富久美
琴浦町教育委員長祝辞



吉田審査委員長講評



←入賞者全員で記念撮影

審査結果・表彰が終わり、ほっとした中で審査委員の方々と一緒に記念撮影となりました。

※来年度は**東部地区**での開催です。お近くの皆様は、中学生の生の声、思いに触れるチャンスです。ぜひ御来場ください。

第33回 「少年の主張」鳥取県大会 最優秀賞（県知事杯）作品

題 名 「命の大切さ」

米子市立東山中学校 3年 田中 愛

私のおじいちゃんは、漁師と板前をしていました。おじいちゃんは、毎日中海や日野川に漁に出て、ワカメやカキ等を採って自分で調理し、お客さんに出していました。そんなおじいちゃんは、地域で有名ながん固者で思った事は全部口に出してしまいます。

しかし、おじいちゃんは私には優しく、かわいがってくれました。私は、そんなおじいちゃんが大好きで一緒に漁に出たり、おじいちゃんお気に入りの演歌を歌っていたりしました。

けれど、おじいちゃんは昨年の冬に急死しました。おじいちゃんは、がん固者だったので、ずっと体の調子がおかしい事を誰にも言いませんでした。病院にかけつけたのは夜中の2時でした。おじいちゃんは、ベッドに横になり心臓マッサージを受けていました。そして静かに亡くなっていきました。私はあまりに急だったのでショックでおじいちゃんに近づく事も出来ず、ただずっと隅で泣いていました。生まれて初めて、身近な大切な人を亡くし、しばらく悲しみにくっていました。

そんな矢先でした。東京で「東日本大震災」に遭ったのは・・・。

私は、3月10日・11日・12日に家族と一緒に上京していました。3月11日午後2時46分。母と2人で赤坂にいた私は、高層ビル内で強い揺れを感じ、あわてて外に逃げました。しばらく強い揺れが続き、町は人の群れであふれ、みな逃げたり叫んだり、しゃがみこんだりしていました。電話は不通、交通機関は全て停止、空にはヘリコプター。今まで生まれてから一度も見たことのない町の騒然としたおそろしい様子にこわくてぶるぶるふるえていました。私たち家族は、ホテルに帰ることが出来ず、渋谷駅で長時間途方にくれていました。

その時でした。駅のテレビで、岩手県、宮城県、福島県が津波におそわれているのを知ったのは。

「日本が大変な事になってる。」

と、恐怖、不安、悲しみに胸がいっぱいになりました。

その時、母の携帯に東京の友人からメールが届き、渋谷まで迎えに来てくれることになりました。友人は、いつもなら15分で着くところを2時間かけて迎えに来てくれて、家に泊めてくれました。温かいお風呂。温かい夕食。そして温かいふとんでねむらせてくれました。

東京で今まで体験したことのない恐しさにでくわしましたが、同時に人の温かさに胸がいっぱいになりました。そして半年たった今、いろんなことを考えさせられています。

まず、連日のニュースで被災者の方のつらく、悲しい様子に胸が打たれ一日も早い復興と被災者の方の元の生活がよみがえるように願っています。

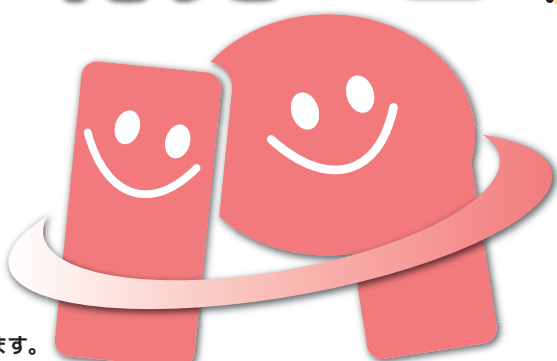
また、地震で命を落とされた方、残された御家族の気持ちを思うと、いてもたってもいられなくなります。そんな時、私はおじいちゃんの死と被災者の方の死を重ねて考える様になっていました。人は命を与えられている限りその尊い命を大切に、心豊かに支え合い生きなければならないと思います。ある意味人の命は、はかないものです。いつか自分に死が来た時、自分の人生は、悔いなく自分らしい人生を送れたと思えることが大切だと気づきました。

おじいちゃんは、諦めずがんばり続ける事を、東京の友人は困ったときは助け合う事を、被災者の方は、生きる事の大切さを教えて下さいました。私は、学んだ事を胸に秘めて生かされている命に感謝し、精一杯生きていこうと心に決めています。



**毎月
19日は**

とっとり 育児の日



地域で

子育てサークル等の
団体で
相談会を開催する

子どもの見守りや
声かけをする
など

企業で

定時退社や有給休暇取得
を促進する日に設定する

子育て応援
パスポート利用者へ
特別サービスをつける
など

家庭で

早めに帰宅し、
家事や育児に参加する

家族そろって食事をする
(家族団らん)
など

鳥取県は毎月19日を『とっとり育児の日』に制定しています。あなたも身近にできることをとおして、子育て活動に参加してみませんか？

青少年育成鳥取県民会議 第3回「家庭の日」絵画入賞作品より










県庁子育て王国推進局子育て応援課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220 番地
TEL 0857-26-7868 FAX 0857-26-7863
e-mail kosodate@pref.tottori.jp



子育て王国
鳥取県
小さな変化が大きな安心

子育て王国とっとりサイトにアクセス！

子育て王国鳥取県

検索

会員募集

次代の日本を担う青少年の健全な育成を図るため、広く県内の皆様に会員ご加入をお願いします。

年会費 個人・団体共通 1口 1,000円以上

入会受付は随時行っていますが、会員期間は入会年度の3月末までとさせていただきます。

会費は青少年育成鳥取県民会議の下記の口座に納入（手数料は無料です）か、事務局まで御連絡ください。

○山陰合同銀行 鳥取県庁支店	（普通預金）2335711
○鳥取銀行 鳥取県庁支店	（普通預金）0167825

※会員の皆様には、総会資料・「少年の主張」文集・啓発カレンダー・機関紙「ととりの青少年」をお送りします。

事務局：青少年育成鳥取県民会議 ☎0857-26-7078